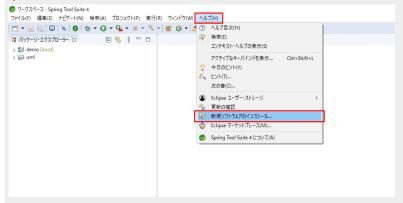
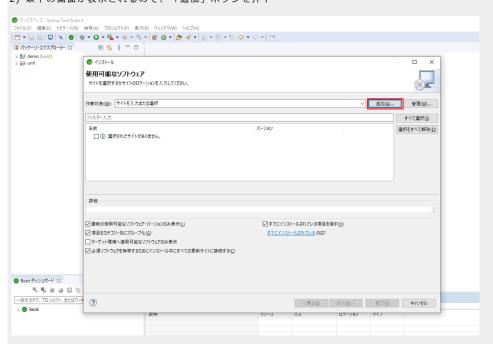
ERMaster のインストール

ERMaster のインストールは、以下の手順で行う。

1) STS を起動し、「ヘルプ」メニューから「新規ソフトウェアのインストール」を選択

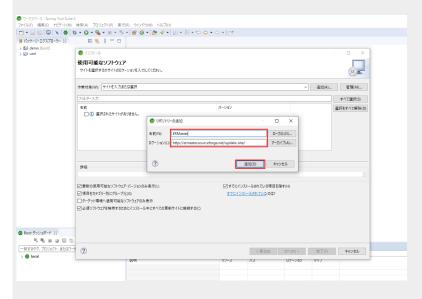


2) 以下の画面が表示されるので、「追加」ボタンを押下

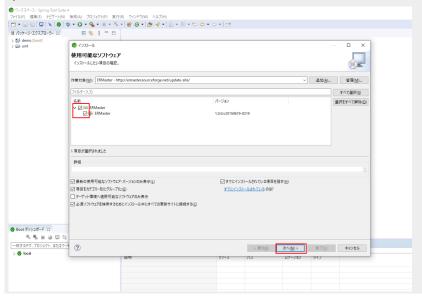


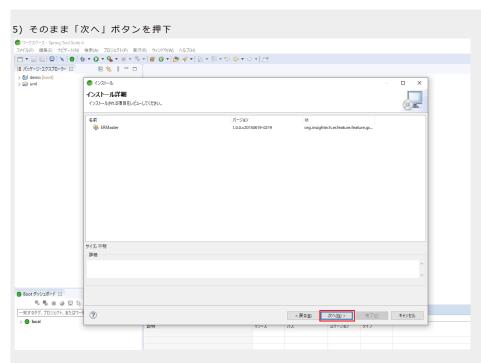
3) 名前に任意の文字列を、ロケーションに「http://ermaster.sourceforge.net/update-site/」を入力後、「追加」ボタ

ンを押下

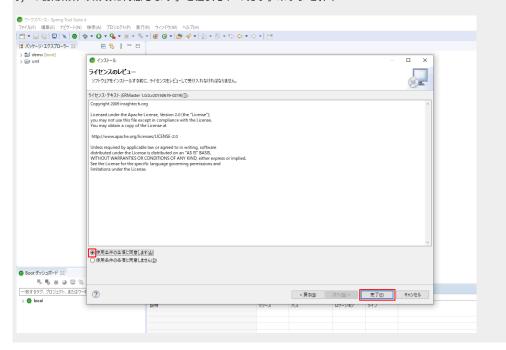


4) ERMaster のチェックボックスを入力後、「次へ」ボタンを押下

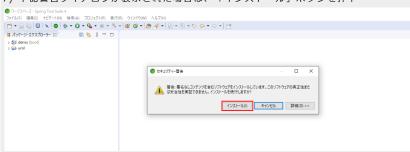




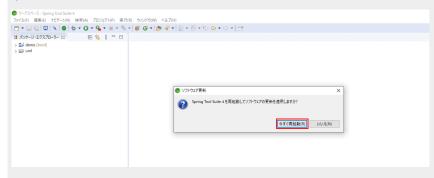
6) 「使用条件の条項に同意します」を選択し、「完了」ボタンを押下



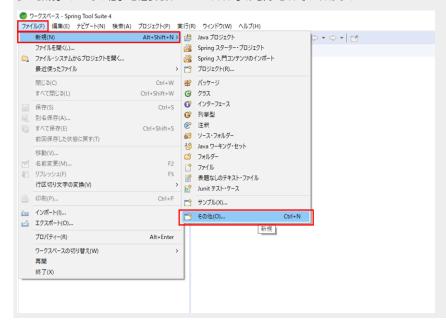
7) 下記警告ダイアログが表示された場合は、「インストール」ボタンを押下

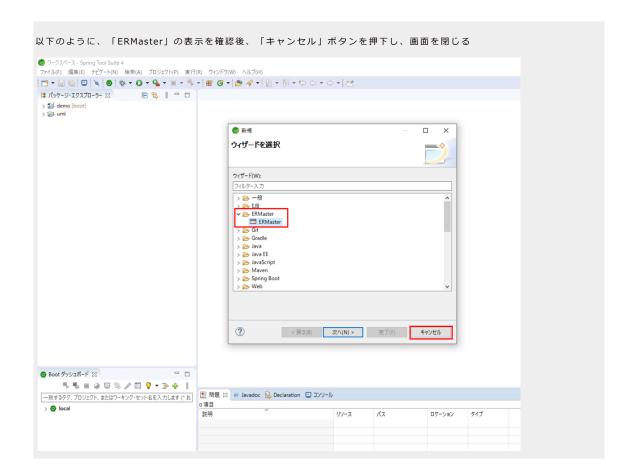


8) インストールが完了すると、再起動の確認ダイアログが表示されるので、「今すぐ再起動」ボタンを押下



- 9) STS の再起動後、ERMaster が正常にインストールされたことを確認するには、以下のように、「ファイル」メニューか
- ら「新規」の「その他」を選択後、「ERMaster」が表示されていればよい

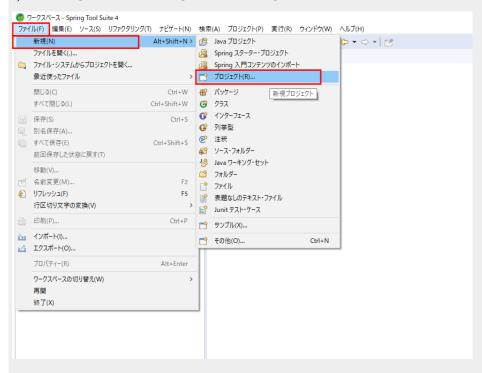




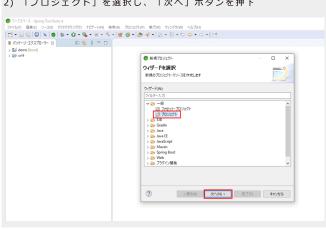
ERMaster 用の新規プロジェクトを作成

ERMaster 編集用ワークシートは、どこかのプロジェクト内に作成する必要があるため、ここで新しく ERMaster 用のプロジェクトを作成することにする。その手順は以下の通り。

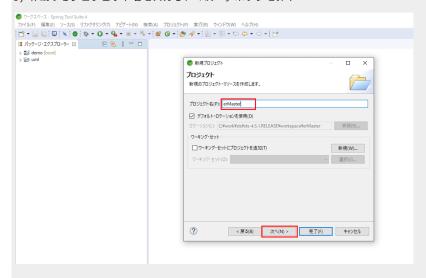
1) 「ファイル」メニューから「新規」の「プロジェクト」を選択



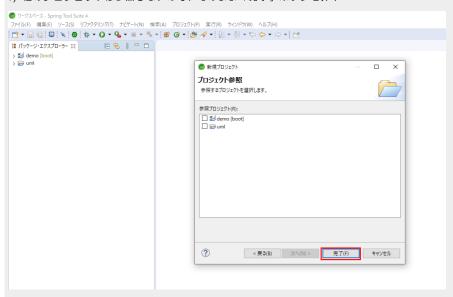
2) 「プロジェクト」を選択し、「次へ」ボタンを押下



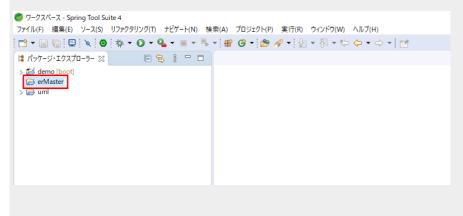
3) 作成するプロジェクト名を入力し、「次へ」ボタンを押下



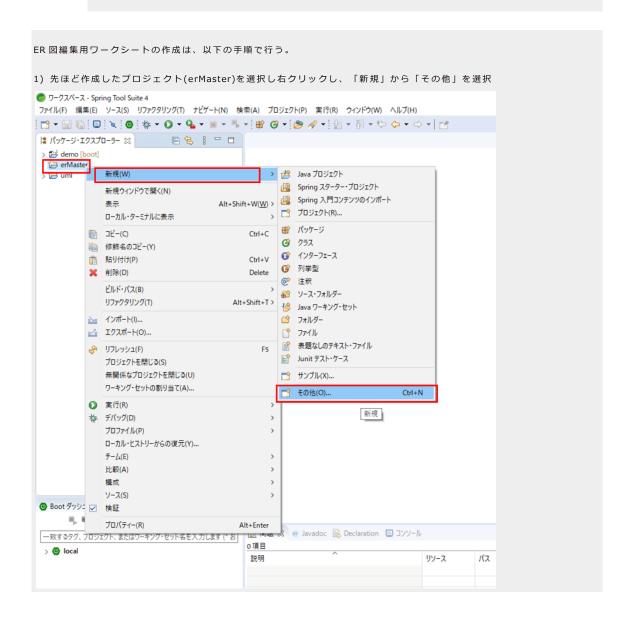
4) 他のプロジェクトは参照しないので、そのまま「完了」ボタンを押下

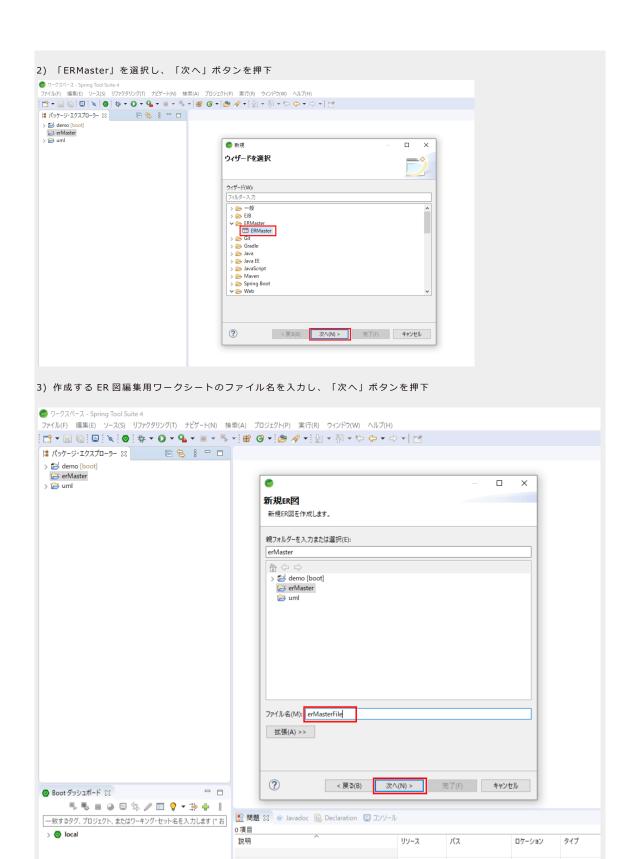


5) 以下のように、指定したプロジェクトが作成されていることが確認できる



ER 図編集用ワークシートの作成

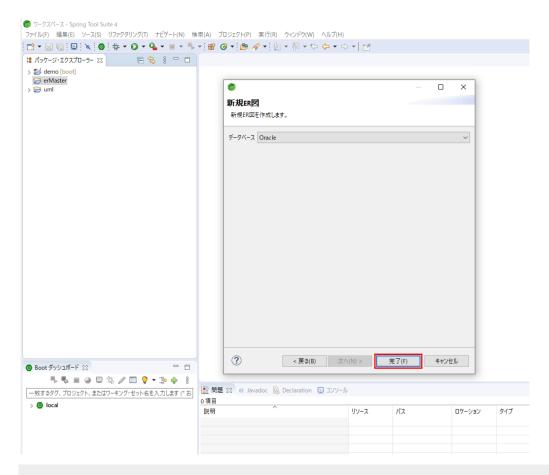




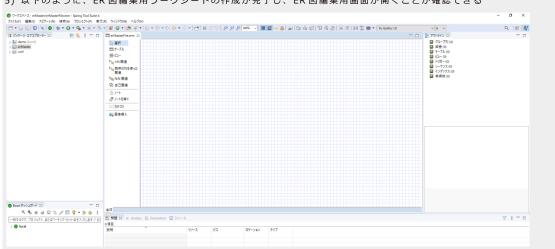
4) 使用するデータベースをプルダウンから選択する画面に遷移するので、使用するデータベース(Oracle)を選択し、「完了」 ボタンを押下 ラークスペース - Spring Tool Suite 4
 ファイル(F) 編集(E) ソース(S) リファクタリング(T) ナビゲート(N) 検索(A) プロジェクト(P) 実行(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) [章 パッケージ・エクスプローラー ☆ | □ | 🔄 😫 📙 🗆 > 📂 demo [boot]

 erMaster

> 🔂 uml 0 × 新規ER図 使用するデータベースを選択してください。 データバース
StandardSQL
MSAccess
DB2
H2
HSQLDB
MySQL
Oracle
PostgreSQl SQLite SQLServer < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F) キャンセル ? ⑤ Boot ダッシュボード
窓 - -0項目 > O local 説明 パス ロケーション タイプ



5) 以下のように、ER 図編集用ワークシートの作成が完了し、ER 図編集用画面が開くことが確認できる



- $\mathsf{ER} \ oxtime{ \ } \mathsf{ER} \ oxtime{ \ } \mathsf{ER} \ oxtime{ \ } \mathsf{C} \mathsf{ER} \ oxtime{ \ } \mathsf{ER} \ oxtime{ \$
- 「ERMaster」は、Eclipse のプラグインとして組み込んで使用できる。